

# 新田だより

# 1月

豊中市立新田小学校  
R5(2023).1.10



## あけまい おめでとうございます



何となく、今年はいい事あるごとし

元旦の朝、晴れて風無し 石川啄木

皆様方におかれましては良いお年をお迎えのことと存じます。

昨年は、保護者の皆様、地域の皆様には様々な場面でお世話になりありがとうございました。

本年も「チーム新田」を合言葉に、教職員が一丸となり教育活動に当たってまいります。さて、今日から、いよいよ今年度最後の学期が始まりました。17日間の冬休みが終わり、学校に元気な子どもたちの声と共に活気が戻ってきました。

冬休みの間、子どもたちは、大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭での、安全管理ときめ細かなご指導に感謝いたします。



十二支の四番バッター卯年を迎えました。

保護者の皆様、そしてお子様はどんな夢や目標をもたれたのでしょうか。

ウサギが跳ねる姿から卯年は、「飛躍」や「向上」を象徴するものとして親しまれており、卯年の今年は、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。

そこで、始業式で子どもたちに、「その挑戦が、未来を変える。」という言葉について話しました。「何か難しいことや、新しいことに出会ったら、果敢に挑戦してほしい。」挑戦は、自分の将来も未来社会も変えることができる、そんな意味が含まれていることから引き続き、ESD 学習をとおして未来を変えるために挑戦してほしいというメッセージを送りました。

今年度も三月の修了式・卒業式までの登校日は40日ほどです。三学期は、一年のまとめをしっかり行い、来るべき次年度の備えをするときでもあります。「継続は力なり」、夢や目標の実現に向かって頑張りたいものです。



# 防災週間&学習

📅 期間 1月16日（月）～20日（金）  
📅 講話・授業17日（火）・18日（水）

防災週間も今年度で7年目を迎えます。いつ何時起こるかわからない地震。自分の命を守るため、有事に備えておかなければなりません。高い確率で起こるだろうといわれている「南海トラフ地震」等も視野に入れ、その時にどの様に行動するべきか、防災の大切さや地震に関する知識を学びます。

今年も京都大学防災研究所の先生（本校卒業生）をはじめ関西地震観測研究協議会の方をお招きして、17日（火）全校朝会で阪神淡路大震災や大阪北部地震の被害等に触れながら、関西地震観測研究協議会が本校「未来の扉」に設置している地震計の役割についてお話をさせていただきます。

また、六年生は、「震度とマグニチュード」について各クラス2時間ずつの特別授業をさせていただきます。

今、ESDの視点で学習していること、取り組んでいることを、より良い社会へとつないでいきたいです。



📍 工室前階段倉庫内

このとびらの奥には、地震計があります。

この地震計は、1994年（阪神淡路大震災の前年）から置いてあり、ふだん起きている小さな地震や南海トラフ大地震の大きさ（マグニチュードなど）を測ります。そして、南海トラフ大地震の次にくる大地震の大きさを推測するのに使います。私たちの命を守るのに役立っています。

## ESDフェスタに向けて

ESD学習活動一年間のまとめとして開催

ユネスコスクールに加盟し今年14年目を迎えます。この間ESD教育推進校として、新田版学びの4本柱（知ることを学ぶ・なすことを学ぶ・共に生きることを学ぶ・人間として生きることを学ぶ）に基づき、ESDでつきたい力の育成に取り組んでまいりました。

その取組みの一環として教育活動に位置付け計画しておりましたESDフェスタ、新型コロナウイルス感染拡大防止から開催を見合わせておりましたが二月中旬に実施する予定です。

本フェスタは、一年間の教育活動の集大成として位置づけており、学年ごとに実践してきたESDの学びを総括する場となります。

保護者の皆様には一年間をとおして、ペットボトルキャップの回収等にあたりご協力を頂きありがとうございます。キャップは当日、通貨金として活用し、フェスタ終了後は、リサイクル工場へもっていき、ポリオワクチンやBCGワクチンに変えます。

2月のフェスタに向け、一月余り、引き続きペットボトルキャップ集めにご協力いただきますようお願いいたします。

### お知らせ

新しい音楽専科の先生が着任されました。  
よろしくお願いいたします。

